

動物用医薬品 要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

泌乳期用セフロキシム-M

セファロスポリン系乳房注入剤



セフロキシムは、*Cephalosporium acremonium*又は*C.salmosynnematum*の培養によって得られる抗生物質の誘導体で、セファロスポリン系抗生物質に属し、感受性菌に対してその細胞壁の合成を阻害して殺菌的に作用します。

泌乳期用セフロキシム-Mは、セフロキシムのナトリウム塩を有効成分とした泌乳期用乳房注入剤で、乳房炎の主起因菌であるブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウムなどのグラム陽性菌に有効で、また大腸菌、クレブシエラなどのグラム陰性菌にも作用を示し、広い抗菌スペクトルを有しています。

泌乳期用セフロキシム-M

セファロスポリン系乳房注入剤

特 徴

- 1) 乳汁への溶出が速やか。
- 2) 第二世代セフェムなので、多くの第一世代セフェム耐性菌に効果を示します。

成分及び分量

本剤1容器中(3g)

セフロキシムナトリウム・・・ 250mg(力価) 青色1号・・・ 2mg

効能又は効果

[有効菌種]

ブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、クレブシエラ

[適応症]

牛：泌乳期乳房炎

用法及び用量

1日1～2回計3回搾乳後に1乳房当たり1容器(セフロキシムナトリウムとして250mg(力価))を注入する。

包装

3g×3本

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用する。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療に必要な最小限の期間の投与に止めることとし、過剰にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛(泌乳しているものに限る。)：食用に供するためにと殺する前2日間又は食用に供するために搾乳する前72時間

(使用者に対する注意)

- ・まれに発赤、皮膚炎等の刺激症状が現れることがある。薬物アレルギーのある人はゴム手袋等を着用してから使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本前の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。

- ・容器先端のノズルは清潔に取り扱うこと。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- ・本剤は衣服や手指等に付着しないように注意すること。また、手指等に付着した場合は直ちに拭き取るか水で洗い流すこと。
- ・本剤に含まれる青色1号により、衣服、手指等が青く染まったりシミになることがあるので取扱いには注意すること。

(牛に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

- ・本剤注入後、乳頭部から乳房に向かって、薬が良く深部に行き渡るように軽くマッサージすること。